

さつきやま魂

さつきやま魂の誇りを胸に、ふるさとに貢献する青年の育成

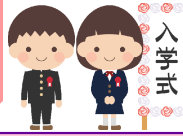
崎山中学校だより
4月12日 第1号
文責 校長 山下



ご入学おめでとう頑張ります

4月7日(水)、令和3年度第17回崎山中学校入学式を挙行しました。新しい制服に身を包んだ4名の新入生が、少し緊張しながらも、中学校生活への期待を一杯に感じ入学しました。

入学式では、在校生代表で生徒会副会長の藤尾依千乃さんが、歓迎の言葉として、「入学を楽しみにしていたこと。清掃活動と学力向上を一緒に取り組みたいこと。」を気持ちを込めて新入生に伝えました。また、新入生の代表の坂井桃果さんが誓いの言葉を述べました。一部を紹介します。



「・・・私が、中学校で頑張りたいことの一つは運動会です。中学生は、予行練習の時から、本番に負けないくらいの気合いや、機敏な動きがあつて、かっこいいなとずっと思っています。・・・先輩方のように成長できるように、9月の運動会までできる限り努力します。もう一つは、勉強です。・・・中学生になるといふことは、新しい一歩を踏み出し、大人に一つ近づくことだと思つたので、難しい勉強にも積極的に取り組み、錬磨の心で努力を続けます。今年はその新しい一歩を踏み出す中学生になれたのだと思つと、今からわくわくします。・・・」

中学校で頑張りたいことがよくわかるすばらしい誓いの言葉でした。

私からは、式辞の中で、中学校三年間は、生き方の基礎を築く大切な時期であることを踏まえ、次のことを話しました。

「・・・『自分なりの夢や志、あるいは目標を持ちましょう。』・・・約2年前には、白血病を患った水泳の池江璃花子選手が、先日、東京オリンピック代表に内定しました。彼女が、壮絶な闘病生活乗り越えて頑張れたのはなぜか。それは、パリ



五輪でメダル獲得という明確な目標があつたからです。・・・中学時代に夢や志、あるいは目標を見つけてください。そして、将来の夢、身近な目標達成に向けて勉強や運動に大いにチャレンジしていきましょう。この三年間で皆さんが大きく成長することを楽しみにしています。・・・」
新入生の保護者の皆様、今後ともよろしく願います。

令和3年度スタート

コロナ禍の中、心配しましたが、6日、全校生徒出席のもと、令和3年度を無事スタートすることができました。始業式では、「信頼と協働」という今年度のキーワードについて話をしました。詳しくは次号で紹介いたします。

新2年生の境脇美波さん、新3年生の竹野優花さんがさつきやま魂を意識した新年度の抱負を述べました。先輩としての強い決意とともに頼もしさを感じさせる発表でした。新しい崎中を引っ張ってくれると信じています。



転入職員紹介

始業式に先立ち、転入職員の着任式を行いました。崎中に勤務することになった七名の先生の着任式を行いました。里中君、片山さん、原田さんが、気持ちのこもった歓迎の言葉を述べられました。



転入職員

- 宗 友博(社会科) 県教委
- 木戸 六雄(社会科) 富江中
- 野原 敬子(英語科) 富江中
- 川端しのぶ(音楽科) 玉之浦中
- 馬場 惇(理科) 大崎中

新規採用職員

- 橋本 夏紀(数学科)
- 永松佐和子(事務)
- 富江中からの兼務職員
- 有川 和子(家庭科)
- 非常勤講師
- 常喜由理子(美術科)

新しいチームさつきやまの一員です。よろしく願います。

【1】挨拶

崎山中勤務三年目となりました校長の山下敏成です。スポーツ観戦、映画鑑賞が好きです。現在、コロナ禍のため、福岡ドーム、そして映画館に2年近く行っていません。今年こそは行きたいのですが・・・。「さつきやま魂」の誇りを胸に、今年も全力で頑張ります。よろしく願います。

